

第3 医療部門

1 リハビリテーション病院

(1) 概要

リハビリテーション病院として、平成6年3月1日にオープンして以来、増大するリハビリテーション医療の需要への対応に努力を続けている。具体的には、脳血管障害や脊髄損傷、脳神経内科疾患（難病）等の重度の障害者に対して高度のリハビリテーション医療を行うとともに、整形外科治療（機能改善手術）を行っている。病床数は120床である。

(2) 診療科目

脳神経内科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、神経・精神科、泌尿器科、循環器内科、麻酔科、歯科

(3) 政策的医療への取組

埼玉県総合リハビリテーションセンターが提供する医療に関し、県立の医療機関である立場から、今後さらに政策的医療に重点を置いた医療の提供に努めていくことが求められている。このため、当センター内における政策的医療推進のための体制の強化と対外的な重点取組分野の明確化を図ることとした。具体的には、3つの重点取組政策的医療分野を定めるとともに、令和4年6月に当該分野ごと多職種職員で構成される「神経難病センター」、「若年者リハビリセンター」、「障害者医療センター」を設置した（下表参照）。

各センターの構成員が定期的に集合しての具体的な取組の検討、実施に向けた手順等の整備、対外的なPR活動などを多職種連携の下で活発に行っている。

センター名	構成員の職種	主な対象患者
神経難病センター	医師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師	パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症などの神経難病患者
若年者リハビリセンター	医師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師	就労・就学世代の脳卒中後遺症患者
障害者医療センター	医師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師	加齢に伴い身体の痙縮、拘縮、疼痛が生じている障害者の患者

(4) 令和7年度事業実績

ア 入院

令和7年度の入院者の総数は医科入院758名、歯科入院60名、合計818名である。病床の利用状況は年間平均で1日当たり100.8名、病床利用率84.0%、平均在院日数45.1日となっている。

疾患別では、脳神経内科疾患が428名（56.5%）と最も多く、脳血管障害141名（18.6%）、アルツハイマー病70名（9.2%）の順になっている。

令和7年度の医科の退院患者数は754名で、退院先は、家庭復帰が643名（85.3%）と最も多く、機能回復訓練や職能訓練のために当センター内の障害者支援施設に入所した者は14名であった。

(ア) 月別入院数及び退院数

(人)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分	医科	59	54	58	71	67	67	72	51	70	62	56	71	758
	歯科	2	0	4	2	7	8	5	6	4	5	5	12	60
退院数	医科	49	58	59	73	64	65	69	54	68	65	53	77	754
	歯科	2	0	4	2	7	8	5	6	4	5	5	12	60
入院延べ人数		3,070	3,104	3,045	2,934	2,986	3,077	3,077	3,178	3,108	3,100	2,948	3,152	36,779
1日平均入院者数		102.3	100.1	101.5	94.6	96.3	102.6	99.3	105.9	100.3	100.0	105.3	101.7	100.8
病床利用率 (%)		85.3	83.4	84.6	78.9	80.3	85.5	82.7	88.3	83.5	83.3	87.7	84.7	84.0%

(イ) 障害原因別入院患者数 (医科)

	(人)	(%)
脳神経内科疾患	428	56.5
脳血管障害	141	18.6
アルツハイマー病	70	9.2
変形性骨関節症	27	3.6
骨折	27	3.6
脊髄損傷	18	2.4
頭部外傷	18	2.4
骨関節疾患	10	1.3
切断	4	0.5
脊髄椎疾患	2	0.2
その他	13	1.7
計	758	100.0

(ウ) 入院目的別患者数 (医科)

	(人)	(%)
訓練	594	78.4
手術	44	5.8
検査	15	2.0
その他	105	13.8
計	758	100.0

(エ) 退院時の障害等級 (医科)

	(人)	(%)
1級	53	7.0
2級	73	9.7
3級	50	6.6
4級	14	1.9
5級	14	1.9
6級	7	0.9
無し・申請中	543	72.0
計	754	100.0

(オ) 入院期間別退院患者数 (医科)

	(人)	(%)
14日以内	130	17.2
15～31日	144	19.1
32～62日	281	37.3
63～93日	87	11.5
94～124日	45	6.0
125日以上	67	8.9
計	754	100.0

(カ) 年齢別入院患者数 (医科)

(人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳～	合計	平均年齢(歳)
男	7	8	14	30	93	45	191	388	62.5
女	5	14	1	28	55	39	228	370	66.7
計	12	22	15	58	148	84	419	758	64.7

(キ) 退院先状況 (医科)

(人)

	家庭復帰	障害者支援施設	病院	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム等	その他	計
男	314	14	26	7	2	12	3	378
女	329	0	25	3	1	17	1	376
計	643	14	51	10	3	29	4	754
構成比(%)	85.3	1.9	6.8	1.3	0.4	3.8	0.5	100.0

※障害者支援施設の人数は、病棟から施設に入所した人数と施設入所者が病棟に入院し施設に戻った人数の合計である。

イ 外来診療

外来では、主に脳血管障害、脊髄損傷、脳神経内科疾患等の患者が診察を受けている。診察に当たっては、原則、他医療機関等の紹介による予約制をとっている。

令和7年度中の外来診療日数は242日、外来延患者数17,452名（初診2,475名、再診14,977名）、1日平均72.1名となっている。

(ア) 診療科目別受診者数

(人)

診療科名	受診者数 合計	左記のうち 初診者数
脳神経内科	4,499	398
整形外科	1,602	192
リハビリテーション科	3,822	49
脳神経外科	385	13
神経・精神科	1,115	109
泌尿器科	249	1
循環器内科	599	32
麻酔科	0	0
歯科	5,181	1,681
計	17,452	2,475

ウ 学習支援

学齢期（小学生から大学生）にある入院患者等に対し、国語、算数（数学）、英語など各教科の学習指導を行うとともに、学習方法の相談支援や復学・進学に向けた相談支援を行っている。特に、高次脳機能障害や身体麻痺などを抱える患者も多いため、医師をはじめ多職種が連携して患者の疾患に応じた学習支援を提供している。学習支援を提供する専門事業者にも委託し、教員経験のある者などを支援員として確保している。

(ア) 実施日 週2日

(イ) 実施時間 1人当たり1時間／日

(ウ) 費用 無料

(エ) 令和7年度実績

支援者数	教科学習指導の延回数
17人	419回

エ 手術

(ア) 月別手術件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医科	3	5	3	7	5	4	9	6	2	4	2	3	53
歯科	2	0	4	2	5	5	3	3	3	4	4	9	44
合計	5	5	7	9	10	9	12	9	5	8	6	12	97

(イ) 医科種類別手術件数

(件)

手術種類	脊椎	人工関節置換術		人工骨頭置換術	関節鏡			観血的整復固定術	抜釘	腱切離・縫合・延長移行・筋・神経剥	切断・断端形成術	指趾手術	腫瘍摘出	バクロフェン持続注入ポンプ埋込術	バクロフェン持続注入ポンプ交換術	脊髄刺激療法装置埋込術	脊髄刺激療法装置交換術	脳深部刺激療法装置埋込術	脳深部刺激療法装置交換術	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	経皮的胃瘻造設術	胃瘻チューブ・経胃瘻空腸チューブ交換	褥瘡・その他	合計
		股関節	膝関節		膝関節	肩・肘関節	足関節																	
件数	0	7	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	1	0	10	18	0	4	3	2	53
%	0	13.2	0	0	0	0	0	0	0	15.1	0	0	0	0	0	1.9	0	18.9	33.9	0	7.5	5.7	3.8	100

(ウ) 麻酔件数

(件)

麻酔種類	全身麻酔	全身麻酔・局所麻酔	局所麻酔	局所麻酔＋静脈麻酔	太腿神経ブロック	その他	合計
件数	81	8	0	7	0	1	97

(5) 令和8年度事業計画

新たな経営改善計画の策定を踏まえ、病床利用率をはじめとした診療実績の一層の向上に努めるとともに、医療の質及び患者サービスの向上を目指す。